

英語による課題研究発表会～松山高校～

熊西のSSH事業として初めて他校の英語による研究発表会に参加

6月10日(土)午後、東松山市総合会館において埼玉県立松山高校主催の英語による課題研究発表会が行われた。研究発表会(口頭発表)は発表7分、質疑・入替3分を9本がおこなわれ、その後ポスター発表が行われた。

本校生徒は3年生チームが口頭発表において、A report on Indian rice frog (*Fejervarya Kawamurai* :numagaeru) around Kumagaya Nishi High School (熊谷西高校周辺におけるヌマガエルの生態報告)を発表した。ポスター発表でも2年生の3チームが参加した。

日本語題	英語題	発表形式	発表者氏名(学年)
熊谷西高校周辺におけるヌマガエル(<i>Fejervarya Kawamurai</i>)の生態報告	A report on Indian rice frog (<i>Fejervarya Kawamurai</i> :numagaeru) around Kumagaya Nishi High School	口頭	阿部 康平(3):Kouhei Abe 玉村 和樹(3):Kazuki Tamamura
様々な金属塩化物を導入した硫化亜鉛の発光	Photoluminescence of ZnS powder doped by metal chlorides	ポスター	八木原陸矢(2):Rikuya Yagihara 永石剛(2):Go Nagaishi 荒井真名斗(2):Manato Arai 高草木柚穂(2):Yuzuho Takakusaki 新島佑佳(2):Yuhka Nijima
観音山のニッコウキスゲ(<i>Hemolocallis dumortieri</i> ver. <i>esculenta</i>)について	About <i>Hemolocallis dumortieri</i> ver. <i>esculenta</i>) of Kannon-yama	ポスター	平川真緒(2):Mao Hirakawa 伊藤彩海(2):Ami Itoh
秩父市大滝 東大演習林の報告	Report of The University of Tokyo Forests, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo.	ポスター	伊藤彩海(2):Ami Itoh 中村紫織(2):Shiori Nakamura

3点のポスター発表



英語でのプレゼンは初めてだったのでとても緊張してしまいました。実際に外国人の方が聞きに来てくれたとき、英語をしっかりと練習したので大丈夫だと思いましたが、緊張でたどたどしい英語になってしまいました。この経験を生かして次はあせらずにしっかりと伝えられると良いなと思いました。(2年女子)

3年生はヌマガエルの口頭発表

発表の後のポスターセッションの時にインド人の女性の方がほめてくれた事が一番うれしくて印象に残った。一方、レジユメのポスターを読んでくれた松山高校の生徒の方から研究の意図について聞かれたので、もっとはっきりした目的がないとダメだと思った。

今回の発表について、自分としては大失敗だった。校内発表のリベンジのつもりで取り組んだ。他人から見れば発表自体は成功だったと思うが、内容は薄いので、もっと中身のある研究にしたい。(3年生男子)



口頭発表の様子



先輩の口頭発表を聞いている



全体風景

編集後記

「英語のポスターを作る時にいろいろな英単語が知れたのが良かったと思います。発表は日本語でしたが、新たな発見が見つかりました。他校がどんなことをやっているかも知れて英語の口頭発表では、リスニングや読解ができました。今回の反省や質問で答えられなかったもの、疑問点をこれから整理して、生かして生きたいです。」(2年男子)

というように、初めて熊谷西高校のSSHの活動として、他校の英語による発表会に参加してみました。英語の必要性を感じた者、新しいアイデアを得た者、緊張した体験をした者など様々でした。今後の飛躍に期待したいと思います。(文責三上)